

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウエルはにーばん		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数が多い為、それぞれの活動に応じた部屋の提供が可能で、リラックスエリアへも自由に行き来できること。	部屋を分散するようスケジューリングすることで、各自が各部屋で活動へ集中できるようにしています。また、コーピングスキルを学ぶことも大切にしており、ただイライラしたりかなしんだりするだけでなく、大人に寄り添ってもらい、自身の感情と向き合えるよう、小集団の中でも都度個別対応をしています。	各エリアの充実を図るよう、玩具や教材の入れ替えや対応する職員の為の教示を各部屋に設置するなど、日々最良の療育提供ができるよう努めます。
2	構造化された環境や視覚支援の取り入れを大切にしており、特に言語のない子どもたちやASDの子どもたちにも、わかりやすく過ごしやすい環境を提供できると考えます。 また構造化を必要としない子どもたちにも柔軟に対応しています。	個人ごとによりわかりやすさが違う現状に合わせて、個人ごとの理解に合わせたカードや教材、エリアなどを作成するようにしています。	アセスメントを大切にし、より個別化していくことで、理解を高め、理解の段階に合う小集団への参加に繋げていきたいと考えます。
3	行動理論を大切に支援していることもあり、禁止制の声掛けをされる機会が基本的になく、安心して過ごせると考えます。	声掛けは、肯定的な表現を使用することを心がけており、字義通り解釈すると行動に移りやすく、行動することで褒められる為、学習しやすいと考えます。	褒め方のバリエーションを増やし、適応行動の定着を目指し、支援をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各部屋で分散して活動していることもあり、1箇所へ集ってしまうと、狭く感じることもある。	各部屋にいる職員間での連携が一方通行になっていたり、共有されていないことで、スケジュールの順が予定通りに運んでいないと考えられます。	タイマーの活用やスケジュール担当者を配置するなどし、より全員がスムーズに個別スケジュールに沿うことで、エリアの分散が可能となるよう検討したい。
2	ホームページやSNSの更新頻度が少なく、室内掲示でお伝えすることも多い。	ホームページ、X、Instagramを活用しているものの、会員登録していることもあり、情報の更新をお知らせしていない為、新しい情報がアップされていることも把握されていない方が多いと考えられます。	更新時に、LINEでのお知らせや室内掲示でのお知らせなどの追加、また、ご利用開始時に皆さんに登録いただくことなど、検討していきたい。
3	新しい職員が定着しづらい現状の為、安定した職員の雇用が必要	経験年数の長い職員を配置転換したことで、新人育成できる職員が減り、わからない現状が多いと考えられる。また、業務内容の難易度が高く、職員の専門性が問われることでもあるが、新人指導の十分な時間の確保が難しい現状があります。	療育時間中の指導は減らし、研修時間のみでの指導にすることで、チャレンジ精神を育み、学びは学びの場で集中して専門性を高めていくことに期待をする。以前から活用している研修動画の内容も、より充実させることで、直接指導以外の学びの機会を増やしていきたいと考えます。